

平成 29 年 8 月 3 日(木)18 時 30 分から、和田公民館において、公共施設再配置和田地域モデル事業の 2 回目の話し合いを行いました。

今回からモデル事業の具体的な検討項目に入り、話し合いには、プロジェクトWと、市から施設マネジメント課、和田支所・公民館に加えて、地域づくり推進課と生涯学習課が参加しました。

【当日の検討項目】

- ◆モデル事業～今後の協議の進め方～
- ◆和田地域の現状と課題の確認
- ◆和田地域の目指す方向性

まず、和田地域モデル事業の今後の検討項目について説明した後に、「地域の現状と課題の確認」として、市から和田地域の人口や公共施設のデータを基に説明しました。

次に、「和田地区 虹色☆夢プラン」策定の際に実施した集落点検について、プロジェクトWから説明いただきました。

この「地域の現状と課題の確認」は、モデル事業を進める上で基礎となるものです。通常、相当の検証過程と時間を要する項目ですが、プロジェクトWとの話し合いにより、「和田地区 虹色☆夢プラン」の策定過程で検討した内容をこれに充て、さらにプランそのものを次の「地域の目指す方向性」に充てることで時間を短縮し、議論の前倒しを図っていきます。

【モデル事業の検討項目】

今後の検討項目を、「地域の現状と課題の確認」「地域の目指す方向性の確認」「支所・公民館を設置するエリアの検討」「各エリアの他の公共施設の集約化に向けた検討」「支所・公民館の整備についてのとりまとめ」として、検討していきます(進める中で必要に応じ、内容の追加・修正等行います)。

【和田地域の現状と課題の確認】

平成 22 年および 27 年の国勢調査を基にした人口推計、地域内の公共施設や店舗などの、生活に必要な施設の状況をまとめ、データから見える地域の現状や課題としてお示しいたしました。

また、「和田地区 虹色☆夢プラン」の策定過程で話し合われた、地域の現状と課題及び解決に向けた提案などについて、プロジェクトWから地域の皆さまの思いとして、ご説明いただきました。

これらを踏まえて、支所・公民館の建設について考えていきます。

【和田地域の目指す方向性】

「和田地区 虹色☆夢プラン」記載の内容を和田地域の目指す方向性のベースと取り扱います。

プロジェクトWの説明では、人口減少や高齢化に伴う担い手の不足が、地域に共通した課題のひとつに挙げられていました。このような状況も踏まえて、地域の拠点としての支所・公民館づくりに“共に”取り組んでいきます。



※次回は「和田地域における4地区の比較」を主な議題として協議を進めてまいります。